



問合せ 太田年金事務所 ☎49-3716



●診療時間は、午前9時～午後5時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前9時～午後1時） ●内科系の※は、小児科のみとなります。



【事例】

数年前ショッピングモールで勧誘されてクレジットカードを作った。利用明細はオンラインで確認するようだったが、スマホが苦手なので見ていなかった。最近、クレジットカードを使っていないのに毎月一定額の引き落としがあることに気づいた。カード会社に問い合わせると「申し込み時からリボ払いになっており、残債が18万円ある」と言われた。リボ払いにした覚えはなく、手数料を支払いたくない。(60歳代)

【ひとこと助言】

リボルビング払い（リボ払い）は、利用金額や回数にかかわらず、あらかじめ設定した一定の金額を毎月支払う

相談は消費生活センターまで ■82-7830 (ナヤマナシ)

クレジットカードの支払い方法です。月々の支払額を一定に抑えることができますが、支払いが長期化し手数料がかさむことがあります。特に、リボ専用カードや自動リボ設定されているカードは、利用の際に「一括払い」と告げても自動的にリボ払いになります。カード申し込みの際は、よく確認しましょう。

また、利用明細を確認することで、毎月の支払残高や支払額（手数料）などがいくらになるのかが分かるため、意図せずリボ払いになっていたことに早く気づけます。利用明細は必ず毎月確認し、不明な点があれば、すぐにカード会社に連絡しましょう。困ったときは、早めに消費生活センターなどにご相談ください。（消費者ホットライン 188）



蓮見雅子さん

はすみ まさこ
板倉在住

書道家として、毎日書道展、
栃木県芸術祭展などに出品。
第62回創玄展公募一科特選入
賞。作品づくりを通して表現
を磨き続けています。

書道との出会い

「墨の匂いと筆が紙を擦る音が好きでした」と笑顔で振り返るのは、書道教室を開く蓮見さん。小学3年生の時、おばあさんが書く姿を見て書道を始めました。「絶対辞めない」と約束して始めた一歩は、高校で恩師川島汀蒲先生との出会いへとつながります。書道部に誘われ、卒業後も「暇なら書きにおいで」と声をかけ続けてもらい、就職や結婚を経ても、書道から離れることはありませんでした。出産後も「そろそろ書ける？」と再び背中を押され、自宅で作品を書く日々が再開。書道を通じてこれたのは「先生が離さず、ずっと紐を引っ張ってくれていたおかげ」と、当時を振り返ります。

個性を大切に書くことを楽しんで

子育て真っ只中で師範試験に合格。家族の支えもあり教室を開きました。指導する中で大切にしているのは、お手本ど

Face
フェイス

墨の匂いと、
筆の音がつないだもの

恩師から受け継いだ思いを子どもたちへ

おりに書くことだけではありません。「子どもたちの個性は文字に表れる。その個性も大事にしたい」との思い。一人ひとりの良さを認めながら、「できた!」という喜びを感じてほしいと願っています。教室には作品だけでなく、おちゃめな言葉や絵、子どもたちの七夕の願い事も生き生きと飾られています。書くことを楽しんでほしいという蓮見さんの思いが、その温かな空間をつくっていました。

恩師からのバトンをつなぐ日々

教室を始めて3年、蓮見さんはふと恩師の気持ちに気づきました。「先生は、きっとこういう気持ちで私に声をかけ続けてくれていたんだ」。なかなか昇級できない子に、「先生も悔しい。一緒に頑張ろう」と寄り添います。「君ならきっとできるから、辞めるな」。かつて蓮見さん自身が恩師から受け取り、今も心に灯し続けている思い。そのバトンは今日も、静かに次の世代へとつながっています。